



命を救う。命をつなぐ。  
CHIKAMORI  
HEALTHCARE GROUP  
近森病院

# 近森病院からの ホットライン

2022.2 Vol.216

発行：近森病院 地域医療連携センター

13 14 15 16  
20 21 22 23  
27 28 29 30



リウマチ・膠原病内科

よした たけし  
科長 吉田 剛

近森病院に赴任し5年になりますが、リウマチ・膠原病内科医、脳神経内科医として数々の難病の診療に力を入れ、高知県の医療に貢献できるように日々努力しております。リウマチ性疾患全般の診療に携わっておりますが、特にリウマチ膠原病の神経筋合併症、また特に関節リウマチの患者様において高齢化社会を背景に広がりを見せているサルコペニアの早期診断と治療に力を入れており、高知県内の複数の施設でサルコペニアに関する臨床研究を進めております。脳神経内科と緊密な連携を行い、多発性硬化症、重症筋無力症、ギランバレー症候群、筋炎といった免疫性神経疾患の診療にも注力しています。



かかりつけ医の先生方へ 地域医療連携センターより  
リウマチ・膠原病内科 医師のご紹介

## サルコペニアの早期発見と治療 エコー検査による 診断と早期介入

に力を入れています！

### 経歴

- 2007年 鳥取大学医学部医学科卒業（鳥取県出身）
- 2007年 沖縄県立中部病院（内科研修医）
- 2011年 沖縄県立北部病院（内科）
- 2012年 沖縄県立中部病院（リウマチ・膠原病科、神経内科）
- 2017年 現在 近森病院（リウマチ・膠原病内科、脳神経内科）
- 2017年 徳島大学大学院 臨床神経学分野 博士課程 入学
- 2021年 徳島大学大学院 臨床神経学分野 博士課程 卒業（博士号取得）

専門分野 リウマチ、膠原病、神経内科、  
筋電図・神経伝導検査

専門資格 日本内科学会 認定医・総合内科専門医・指導医 /  
日本リウマチ学会 専門医 / 日本神経学会 専門医・指導医  
日本臨床神経生理学会 専門医（筋電図・神経伝導分野）/  
ECFMG certificate（米国医師臨床研修資格）/  
徳島大学病院 脳神経内科 診療支援医師

趣味 読書、音楽鑑賞、ジョギング、子供と遊ぶ

### くもん よしたか 部長 公文 義雄

1982年 徳島大学 卒業

日本内科学会・指導医・認定内科医  
日本糖尿病学会・糖尿病専門医・指導医  
日本リウマチ学会・リウマチ専門医・指導医  
日本動脈硬化学会・動脈硬化指導医  
日本リウマチ財団・登録医



糖尿病・内分泌代謝内科 /  
リウマチ・膠原病内科  
へのご紹介は…

	月	火	水	木	金
午前	公文 中山	公文	浅羽	公文	公文 中山
午後	吉田			吉田	

当科では、リウマチの専門的な治療を行う患者さんに対して、薬物治療だけでなく、積極的なサルコペニアのスクリーニング検査と、運動及び栄養指導を行っています。運動の実施はノートに記入し、担当医がチェックしフィードバックすることにより、継続的な効果が期待できます。



エコー検査についての詳細は  
裏面をご覧ください



088-822-5231 (代)

【緊急の紹介受診について】

【翌日以降の紹介予約について】

【共同機器利用の予約について】

⇒ E R救命救急センターへ おつなぎします

⇒ 地域医療連携センターへ おつなぎします

⇒ 近森病院画像診断部へ おつなぎします

※混雑状況によりお待たせする場合がございます。何卒ご了承ください。



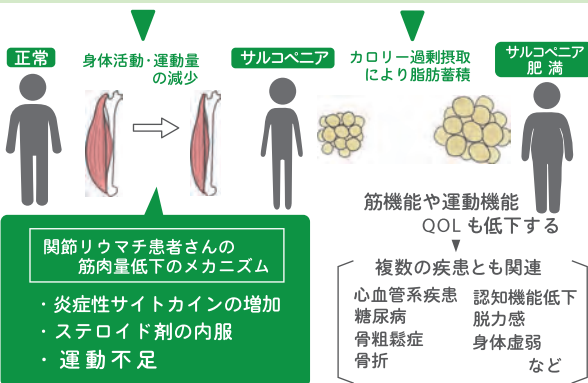
# リウマチ 外来

## コロナ禍で増加 サルコペニアの早期発見と治療

サルコペニアとは転倒、骨折、身体機能低下、死亡などの健康障害の危険が高まった進行性かつ全身性の骨格筋疾患と定義されます。診断は筋力ないしは運動機能の低下と、検査による骨格筋量の低下の確認によって行います。

**■ コロナ禍** コロナ禍で外出を控え、家の中で過ごす時間が増え、運動不足や食事習慣の変化が生じたことにより、筋肉量の低下を引き起こし、サルコペニアのリスクが増加していると考えられます。

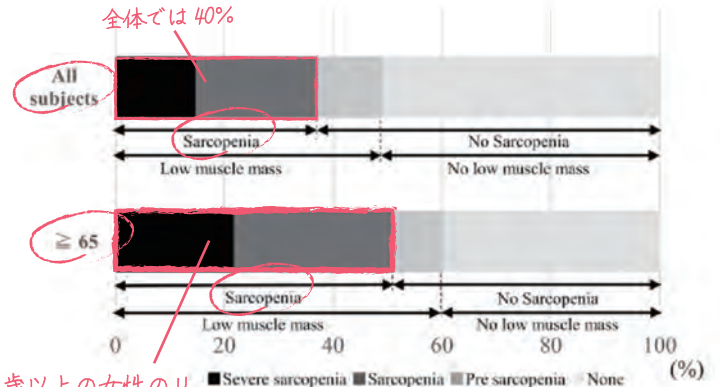
コロナ禍での生活習慣の変化がサルコペニアのリスクとなっている  
 身体活動↓ 日光浴↓ ストレス・不安↑ 超加工食品↑  
 歩数↓ 睡眠の質↓ 食事頻度・間食↑ たんぱく↓



(Geroscience. 2020; 42: 1547-1578. を元に作図しています)

**■ リウマチ** サルコペニアは加齢とともに増加するだけでなく、様々な慢性疾患に合併することが知られていますが、特に高齢の関節リウマチの患者さんは高頻度にサルコペニアを合併していることが報告されています。

リウマチ患者におけるサルコペニアの有病率

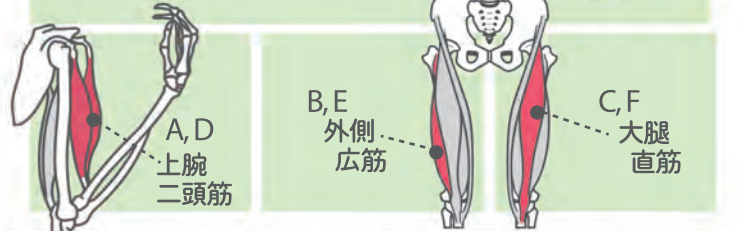


65歳以上の女性のリウマチ患者さんでは50%以上がサルコペニアと診断された

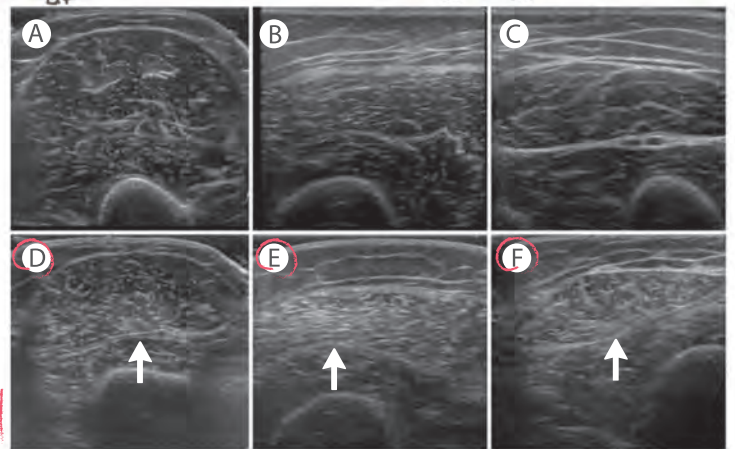
引用 Mod Rheumatol 2019. 29: 4; 589-595.



骨格筋エコーによるサルコペニアの評価



サルコペニア合併なし  
サルコペニア合併



サルコペニアを合併するリウマチ患者さんの筋肉は、萎縮するとともに筋肉内脂肪が増加しており、よりエコー輝度が高くなっている

# 臨床研究

## エコー検査による診断と早期介入

最近の当科の調査でも、50歳以上の女性リウマチ患者の約44%がサルコペニアと診断されており、高知県においてもサルコペニアは重要な課題であると考えられます。

このような中、我々は、エコー検査を用いて簡便かつ高い精度で、サルコペニアを診断する方法を世界で初めて発表しました。



投稿論文 Ultrasound assessment of sarcopenia in patients with rheumatoid arthritis

掲載誌 Modern Rheumatology (日本リウマチ学会の英文誌)

これらの所見を組み合わせることで、高い精度でサルコペニアの診断が可能であることが明らかとなりました。早期診断により、早期の治療が可能となります。簡便なエコー検査により、外来でサルコペニアを診断できることは大きな意義があり、関節リウマチの患者さんの診療の質を改善することにつながると信じています。